

## シンポジウム

### 「上部消化管全体の悪性腫瘍スクリーニングをめざして」

座長 岡 政志（埼玉医科大学総合医療センター消化器肝臓内科）  
井上 和彦（淳風会健康管理センター）

超高齢社会であるわが国の上部消化管疾患スクリーニングにおいて今しばらく胃がん対策は最も重要です。一方、疾患スペクトルは変化し、また、診断能や検査機器の進歩に伴い、スクリーニングの現場で胃がん以外の悪性腫瘍を診断することも少なくありません。喫煙・飲酒がリスク因子である食道扁平上皮がん・咽喉頭がん、胃食道逆流症と関連したバレット腺がん、また、十二指腸下行部非乳頭部がんへの対応も必要となっています。本シンポジウムでは、胃がんにとどまらず、上部消化管全体の悪性腫瘍のスクリーニングについて幅広く議論し、制度設計の礎にしたいと考えています。